

スタスタLIVE英検

オンライン英検®専門指導 個別学習設計

SAMPLE

架空のモデルケースです

CASE 05 OVERSEAS / EIKEN GRADE PRE-1

海外在住 中学3年生 白石 湊さん（ロンドン）

英検準1級 合格プラン

現在地の診断と、合格までの学習設計

小学6年からロンドンの現地校に通って3年目。授業も日常も英語で成立していて、**リスニングは750点満点中610点**。それでも準1級は不合格で、合格基準まであと142点でした。足りないのは英語力ではなく、**日常会話には出てこない抽象語と、試験形式の経験**です。どちらも現地の生活では身につかない部分で、だからこそ手を打つ価値があります。

受験予定

2027年1月

S-CBT ロンドン会場 / 注6

学習期間

137日間

2026年9月1日から

学習量

週11時間

平日1時間＋週末3時間

この資料は、お一人ずつ手作りしています

本書は見本としてお見せするための架空のモデルケースです。実際にお渡しする資料は、面談で伺った内容だけをもとに、診断も図の数値も日程も文章も、すべてその方のために書き起こします。テンプレートに名前を差し替えたものではありません。

スタスタLIVE英検 無料相談資料 見本

英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。本書に登場する人物・成績・日程はすべて架空のモデルケースであり、実在の受講生とは関係ありません。問題数・満点スコア・合格基準スコア・試験日は同協会の公表情報に基づきます。

00 EXECUTIVE SUMMARY

この計画の要点

診断、最優先の打ち手、見通し、そして前提が崩れる条件。

所見

現地校3年目で、リスニングは**610点（およそ81%）**。聞く力は準1級の基準を大きく超えています。一方でリーディングとライティングがともに520点で、合計1650点。合格基準1792点まで**あと142点**でした。大問別ではリーディング大問1の語彙が6/18（およそ33%）。つまり不足しているのは英語力ではなく、**日常会話には出てこない抽象語と、試験形式の経験**です。

最優先の打ち手

抽象語の語彙と、英文要約の型。この2つに絞ります。英語に触れる量を増やす対策は入れません。

なぜここを最優先に置くか。現地校に通っていれば、英語に触れる量は日本にいる受験生の何倍もあります。そこをさらに増やしても、大問1の6/18は動きません。準1級の大問1に出るのは、**日常会話にはまず出てこない抽象語**だからです。これは生活の中では出会えず、意図的に入れるしかありません。英文要約も同じで、英語が書けることと、要約の型を知っていることは別の能力です。**現地では身につかない部分だけをやる**のが、この計画の考え方です。

数字で見た見通し

前回の合計スコア

1650 / 2250

合格基準まであと142点

リスニング

610 / 750

81% すでに基準超え

大問1 語彙

6 / 18問

正答率33% 最大の穴

学習期間

137日

週11時間で約215時間

見通し

射程内です。聞く力という最も時間のかかる部分がすでに仕上がっており、残るのは意図的に入れられる2つだけです。137日を週11時間で進めれば約215時間となり、あと142点を埋めるには十分な量になります。授業は現地の朝でも夜でも置けるため、**現地校の生活を崩さずに続けられます。**

この見通しが崩れる条件

現地校の長期休暇や一時帰国で、2週間以上まるごと空いた場合は、1月ではなく3月以降の回に切り替えます。海外会場でも、月に複数回実施される月があります。ただし席は先着なので、受験月を変える判断は早めに行います。

この資料の読み方。1章で現在地とつまずきの原因を切り分け、2章でいつ受けるかを逆算し、3章でその先の見通しを置きます。4章が日々の打ち手、5章が想定されるつまずきと計画の組み替え条件です。6章以降は進め方と体制のご説明になります。

01 DIAGNOSIS / 1

現在地を、数字で押さえる

英語は使えています。数字がそれを示しています。

現在地（準1級 一次の成績より）

準1級 一次の合計CSEスコア（3技能・2250点満点）

合格基準 1792

1650

合格まであと 142 点

聞く力はすでに基準超え。残り幅が大きいのは読む・書くの2つです

Reading（読む）

520/750

得点率 69% 残り230点分

大問1 語彙 6/18

抽象語がまるごと抜けています

Listening（聞く）

610/750

得点率 81% 残り140点分

現地校で育った力

ここに追加投資はしません

Writing（書く）

520/750

得点率 69% 残り230点分

英文要約の型が未習得

書けることと、要約は別の力です

図1：満点2250点、合格基準1792点、技能別満点750点は日本英語検定協会の公表情報より（注2）。技能別スコアと大問別の正答数は架空のモデルケースの数値です。実際の資料では、お手元の成績表の実数で作成します。

この成績が語っていること

- リスニング610点は、独学ではなかなか届かない水準です。現地校で3年間、英語で授業を受けてきた成果がそのまま出ています。ここは日本にいる受験生に対する明確な優位です。
- その一方で、大問1が6/18。18問中12問を落としています。聞く力がこれだけあって語彙だけが極端に低いというのは、英語力の問題ではなく、出会っている語の種類が違うということです。
- 読むと書くが同じ520点。残り幅がどちらも230点分あり、この2つが今回の伸びしろです。合格まであと142点なので、この2つのどちらかが動けば届きます。
- 準1級のリスニングにはReal-Life形式が5問あり、放送は1回だけです（注1）。ここに対応できている点も、現地生活の効果と考えられます。

01 DIAGNOSIS / 2

つまずきの原因を切り分ける

英語は使えるのに準1級で点が取れない原因を4つに分け、判定しました。

考えられる原因	判定	そう判断した根拠	この計画での扱い
① 英語力そのもの	非該当	リスニング610点（81%）。現地校3年目で、授業も日常も英語で成立しています。	時間を使いません。 英語に触れる量を増やす対策や、会話の練習は入れません。
② 抽象語の語彙	該当	大問1が6/18でおよそ33%。日常会話には出てこない語が中心で、現地の生活では出会いません。	最優先。 読む長文から語を抽出した単語帳を作り、1日25分。
③ 試験形式と時間配分	該当	英検の形式を経験しておらず、時間内に解ききれていません。英文要約も型を知らないまま書いています。	週末に通しで演習。 英文要約は型から入れます。
④ 日本語での処理	一部該当	設問と選択肢は日本語です。和訳で覚える市販の単語帳は、この状況では機能しにくい面があります。	和訳の暗記ではなく、イラストとイメージで意味の中心をつかむ形にします。

図2：前回の成績表の大問別データと、面談で伺った現地校での様子から判定しています。実際の資料では、成績表の実数と実際の答案を拝見したうえでこの表を作成します。

この診断から導いた、時間配分の方針

- 該当2項目に時間を寄せます。**英語に触れる量を増やす対策は一切入れません。**すでに足りているものに時間を使っても、142点は生まれません。
- 語彙は平日の朝、要約と通し演習は週末。**まとまった時間が要るものだけを週末に置きます。**
- 単語帳は和訳ではなくイラストで作ります。日本語の語彙が壁になる場面を、教材の側で回避します。

担当コーチの所見

海外にいるお子様の英検で、いちばんもったいない処方が「英語をもっと勉強させる」です。リスニングが610点あるなら、英語力は足りています。足りないのは、日常会話には出てこない抽象語と、日本語で書かれた設問を処理する経験。この2つは、**現地でどれだけ生活しても身につけません。**逆に言えば、ここだけをやればいい。そしてもう一つ。海外の方の学習が止まる理由は、実力ではなく**時差と受験機会という運用の問題**であることがほとんどです。だからこの資料では、学習の中身より先に、続けられる形になっているかを決めています。

02 REMOTE SETUP 海外から、どう続けるか

実力より先に、運用でつまずくのが海外の学習です。

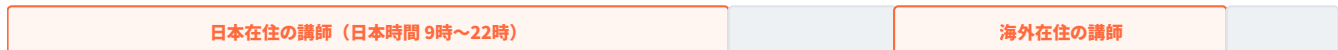
海外にお住まいの方の学習が止まる理由は、ほとんどが英語力ではありません。**時差で授業の時間が合わない、受験できる回が限られる、教材が届かない、一時帰国で計画が崩れる。**実際に起きるのはこの4つです。だからこの計画では、学習の中身より先に、**続けられる形になっているか**から決めます。

1. 授業の時間帯

授業を組める時間帯（ロンドン在住の場合・冬時間で日本との差は9時間）



担当できる講師



図：日本在住の講師が対応できる日本時間9時から22時は、ロンドンでは0時から13時。ここに**海外在住の講師**が加わるため、現地の夕方から夜も枠になります。夏時間の期間は1時間ずれます。

朝しか選べない、ということはありません。日本在住の講師だけなら現地の朝に限られますが、当塾には海外在住の講師も在籍しています。夜に置きたい場合は、その時間帯に対応できる講師を担当にします。

2. 受験の機会

S-CBTの海外会場は6都市です。

ロサンゼルス、ニューヨーク、デトロイト、サンノゼ、ロンドン、デュッセルドルフ。準1級・2級・準2級・3級が対象で、月に複数回、週末に実施される予定です。頻度は会場によって異なります。1級と準2級プラスの実施はありません（注6）。

席は先着です。

実施日と申込の開始時期を会場ページで確認し、受付開始と同時に申し込みます。日本国内より会場数が限られるぶん、埋まるのも早くなります。一時帰国のご予定があれば、日本国内のS-CBTや従来型を使う選択肢もあります。

3. 教材と、一時帰国と、お支払い

- **教材は郵送を待ちません。**単語帳はPDFでお送りし、演習は自社アプリで完結します。紙が必要なもののだけ、一時帰国のタイミングに合わせてご用意いただきます。
- **一時帰国中でも授業は止めません。**日本時間で組み直すだけです。むしろ日本にいる間のほうが時間帯を選べるため、集中的に進める期間として使えます。
- **現地の学校行事や長期休暇は、先に計画から外します。**授業の変更は前日までのご連絡で対応します。お支払いはクレジットカード決済のため、海外からでも手続きは変わりません。

この章を最初に置いている理由。学習計画そのものは、日本にお住まいの方と大きくは変わりません。違うのは、その計画を実行できる形にしておく手間のほうです。

02 BACKCASTING ゴールから逆算する

137日。現地校の生活を崩さずに置ける量にします。

目標は**2027年1月のS-CBT（ロンドン会場）**、9月1日から数えておよそ**137日**です。平日1時間、週末3時間という置き方であれば**週11時間**となり、137日でおよそ215時間になります。すでに1650点まで来ているため、あと142点を埋めるには十分な量です。現地校の宿題とは別の枠として、平日は登校前の朝か、放課後の夜のどちらかに置きます。



図3：S-CBTの海外会場は月に複数回、週末に実施される予定です（注6）。実施日と申込の開始時期は会場ページで確定させます。席は先着のため、受付開始と同時に申し込みます。

平日1時間の内訳（週末は3時間で要約と通し演習にあてます）

語彙 25分	英文要約 20分	長文 15分
該当。抽象語を意図的に	該当。型を固める	語彙の定着を確認
リスニングの枠は置きません。現地校の生活の中で、日本にいる受験生の何倍も触れているためです		

図4：平日の1時間は、登校前の朝でも放課後の夜でも構いません。生活リズムに合うほうを選び、そこに対応できる講師を担当にします。リスニングに枠を置いていないのが、この計画のいちばんの特徴です。非該当と判定した項目に時間を使わないという判断を、配分にそのまま反映しています。

帰国後を見据えて

帰国生入試では、英検の級を出願要件や加点の材料にする学校があります。**準1級まで取っておくと、選べる学校の幅が変わってきます。**ただし扱いは学校ごとに大きく異なるため、志望校の募集要項で必ずご確認ください。帰国の時期が決まっている場合は、それに間に合う受験回から逆算して計画を組み直します。

03 ROADMAP 合格までの全体像

準1級の先まで見通しを立てておきます。

準1級は**大学中級程度**とされる級です（注4）。現地校で育った聞く力と話す力に、語彙と書く型が加われば、**この階段は日本にいる受験生より速く上れます**。ひとつだけ注意が要るのは1級で、S-CBTの海外会場では**1級と準2級プラスの実施がありません**（注6）。1級を目指す場合は、一時帰国のタイミングに合わせて日本国内で受験する形になります。

一次試験の合格基準スコア（棒の高さ）と、合格に必要な得点率

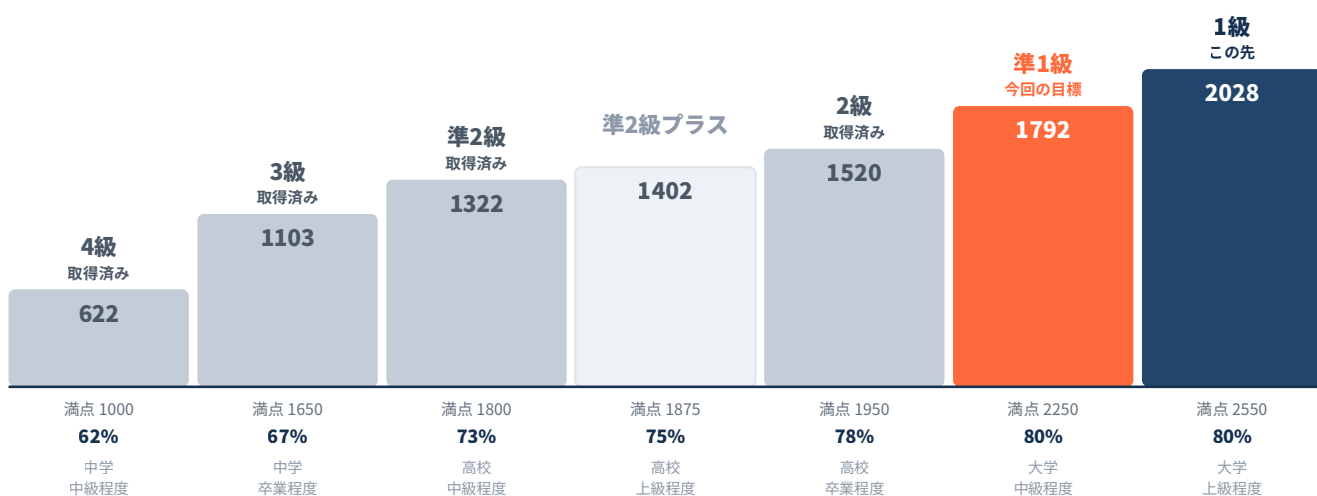


図5：棒の高さは一次試験の合格基準スコア、下の数字は満点と、合格に必要な得点の割合です（注2）。4級の62%から準1級・1級の80%へ、級が上がるほど必要な得点率も上がります。推奨する学習の目安は同協会の公表情報より（注4）。

海外にいることの、有利と不利

- **有利なのは、聞く力と話す力です。**今回リスニングが610点あるように、この2つは現地の生活がそのまま学習になります。日本にいる受験生が最も時間をかける部分を、すでに持っています。
- **不利なのは、抽象語と、日本語での処理です。**準1級の大問1に出る語は日常会話に出てきません。設問と選択肢が日本語である点も、現地校が長いほど負担になります。どちらも意図的に入れるしかありません。
- **受験機会は、日本国内より限られます。**S-CBTの海外会場は6都市で、1級と準2級プラスの実施はありません（注6）。一時帰国の予定と組み合わせて考えると、選択肢が広がります。

海外にいる期間は、有限です。帰国すれば、聞く力と話す力が自然に伸びる環境はなくなります。逆に、抽象語と書く型はいつでも入れられます。だとすれば、**現地にいる間にやるべきは後者**です。英語に触れる量を増やす対策を入れていないのは、優先順位の問題であって、量が要らないという意味ではありません。

04 PROGRAM 毎日の学習メニュー

現地では身につかない部分だけに、時間を寄せています。

語彙

平日25分

抽象語を、意図的に入れる

大問1の6/18は、出会っている語の種類が違うことを示しています。読む長文から重要語をこちらで抽出し、イラスト付きの単語帳を作ってお渡しします（次ページに見本）。和訳ではなくイラストで意味の中心をつかむ形なので、日本語の語彙が壁になりません。

なぜ 診断で該当と判定した項目です。日常会話には出てこない語なので、現地の生活では出会いにくい語です。だから塾で扱う価値があります。

英文要約

週末中心

書けることと、要約は別の力です

英語で書くことには慣れていても、本文の論理をたどって短くまとめる作業は別です。どこを残しどこを落とすかの基準を先に入れます。書いたものは講師が目で見えて添削し、なぜその一文を残すのかまで扱います。まとまった時間が要するため週末に置きます。

なぜ。残り幅が230点分と大きく、かつ型で動く場所です。現地校のライティング課題とは求められるものが違います。

通し演習

週末

時間内に解ききる経験を積む

英検の形式を経験していないため、時間配分でつまづいています。週末に一次を通して解き、どこで時間を使いすぎているかを特定します。設問と選択肢が日本語である点にも、ここで慣れていきます。

なぜ。「試験形式と時間配分」が該当のためです。知識ではなく、本番の再現性を作る目的で置いています。

長文

平日15分

覚えた語が出てくるかを確認する

読む力そのものは足りています。長文は新しい対策としてではなく、単語帳で覚えた抽象語が実際の文章で出てきたときに反応できるかを確認する場として使います。

なぜ。読解力ではなく語彙が原因と切り分けたためです。長文演習を増やしても、語彙が入っていなければ同じところで止まります。

リスニング

枠を置かず

現地の生活が、そのまま学習です

610点という数字がすでに答えです。ここに授業や課題の枠を置きません。現地校で毎日英語を聞いている以上、追加の演習で得られるものは限られます。本番形式の確認は、週末の通し演習の中で足ります。

なぜ。非該当と判定した項目です。すでに取れているものに時間を使っても、あと142点は生まれません。

英語に触れる量は、増やしません。海外にお住まいだと「もっと英語漬けに」という方向に行きがちですが、今回の診断ではそこは非該当です。現地校に通っている時点で、量はすでに十分にあります。足りないのは種類のほうで、それは意図的に入れるしかありません。

04 MATERIAL

語彙は、この単語帳で覚えます

その回の問題に出た語を、こちらで抽出してお渡しします。

市販の単語帳を渡して終わりにはしません。読む長文が変わるたびに、その回の問題に出た重要語をこちらで抽出し、イラスト付きの単語帳を作ってお渡しします。和訳の丸暗記ではなく**意味とイメージで覚える形**にしているため、初見の文でも語感が働きます。

2025年度 第2回 英検 準1級
リーディング Part1・Part3
覚える単語一覧

トトマルと一緒に覚えよう！
毎日の一歩が大きな力になるよ！

この単語帳の使い方

- すべての単語に、意味を表すイラストがついているよ！
- 声に出して読んだり、例文を音読して覚えよう！
- 最後にテストもあるから、しっかり復習できるよ！

1/15

★ Part1 語彙問題 18語 (1~6)

1 remote リモート
人里離れた、遠隔の
The village is a remote area.
その村は人里離れた地域にある。

2 audible オーディブル
聞き取れる
His voice was audible.
彼の声は聞き取れた。

3 commuter コミューター
通勤者
She is a daily commuter.
彼女は毎日の通勤者だ。

4 commission コミッション
歩合、手数料
She earns a commission.
彼女は歩合を稼いでいる。

5 fatigue ファティグ
疲労
He felt extreme fatigue.
彼はひどい疲労を感じた。

6 abruptly アブラプタリ
突然、急に
The meeting ended abruptly.
その会議は突然終わった。

2/15

★ Part1 語彙問題 18語 (7~12)

7 tolerate トラネイト
許容する、我慢する
I can't tolerate rudeness.
私は無礼な振舞いを許容できない。

8 massive マッシブ
巨大な、大規模な
It was a massive project.
それは巨大なプロジェクトだった。

9 accommodate アコモデイト
収容する、対応する
The hotel can accommodate 200 guests.
そのホテルは200人客を収容できる。

10 forthcoming フォーミング
直前に情報を出す
He was forthcoming with details.
彼は詳細な情報を提供してくれた。

11 indebted インデブテッド
借りがある、恩恵を受けている
I'm indebted to you for your help.
あなたの助けのおかげで借りがあります。

12 escort エスコート
付き添う、護送する
The police escorted him to safety.
警察が彼を安全な場所へ護送した。

3/15

★ Part1 語彙問題 18語 (13~18)

13 batch バッチ
一団、ひとまとまり
I baked a batch of cookies.
チョコレートを一団焼いた。

14 evoke イヴーク
感情などを呼び起こす
This song evokes memories.
この曲は思い出を呼び起こす。

15 figure on フィギュア オン
覚悟にする、予測する
I'm counting on his support.
彼がサポートをしてくれると思っている。

16 shoot down シュート ダウン
撃ち落とす、降下する
The plane was shot down.
その機体は撃ち落とされた。

17 tear down テア ダウン
取り壊す
They decided to tear down the old building.
彼らは古い建物を取り壊すことにした。

18 get down ゲット ダウン
降りる
Please get down at the next stop.
次の駅で降りてください。

4/15

Part3 長文1 「Rocket Science」 前半30語 (1~6)

1 household name ハウスホルドネーム
誰もが知っている有名な人・名称
She became a household name.
彼女は誰もが知っている有名な人になった。

2 media coverage メディアカバレッジ
マスコミによる報道
The recent media coverage of the event was extensive.
そのイベントの最近のメディア報道は広範囲にわたった。

3 achievement アchievement
偉業・功績
Her achievement was highly praised.
彼女の偉業は高く評価された。

4 behind the scenes ビhind the scenes
裏方で、裏に隠れているところ
They worked behind the scenes.
彼らは裏方で働いていた。

5 play a crucial role in プレイ ア クリカル ロール イン
重要な役割を果たす
The new technology played a crucial role in the project.
その新しい技術はプロジェクトに重要な役割を果たした。

6 unsung hero アンサング ヒーロー
名前は知られていない英雄
Many people have unsung heroes.
多くの人には知られていない英雄がいる。

5/15

Part3 長文1 「Rocket Science」 後半30語 (7~12)

7 conduct calculations コンダクト カルキュレーション
計算をする
They conducted complex calculations.
彼らは複雑な計算を行った。

8 complex calculation コンプレックス カルキュレーション
複雑な計算
This problem requires a complex calculation.
この問題は複雑な計算が必要だ。

9 spacecraft スペースシャトル
宇宙船
The spacecraft launched successfully.
その宇宙船は成功して打ち上げられた。

10 navigation ナビゲーション
航行、ナビゲーション
The ship's navigation system was faulty.
その船のナビゲーションシステムは故障していた。

11 aerodynamics エアロダイナミクス
空気力学
Aerodynamics affects an object's performance.
空気力学は物体の性能に影響を与える。

12 orbital physics オービタル フジックス
軌道物理学
Orbital physics helps scientists study the universe.
軌道物理学は科学者が宇宙を研究するのに役立つ。

6/15

見本：2025年度第2回 準1級のリーディングから作成した単語帳（全15ページ）。Part1の語彙18語と、長文「Rocket Science」に出た語を抽出しています。すべての語にイラスト、読み方、例文と和訳がつき、巻末にテストがあります。級と回が変われば、その回のぶんを作り直します。

なぜ、わざわざ作るのか

- 市販の単語帳では届かないから。英検の名がついた単語帳でも、出題を完全にはカバーできません（注5）。その回に実際に出た語から作れば、取りこぼしがなくなります。
- 和訳の丸暗記は、初見の文で働かないから。イラストで意味の中心をつかんでおくと、知らない文脈で出てきても意味を推測できます。選択肢を絞る力はここから生まれます。
- 読んだ文脈とセットで覚えられるから。授業で読んだ長文に出た語なので、その文章を思い出せば語も出てきます。単語帳だけを回すのとは定着が違います。
- 覚えたつもりで終わらせないため。巻末にテストをつけています。イラストを見て意味が出てくるか、例文が読めるかを自分で確認できます。

海外の方にこそ、この形が効きます。設問と選択肢が日本語である以上、和訳で覚える市販の単語帳はどうしても負担になります。イラストで意味の中心をつかむ形なら、日本語の語彙が壁になりません。PDFでお送りするので、郵送を待つ必要もありません。

05 RISK & DECISION

想定されるつまずきと、計画の組み替え

海外での学習で実際に起きることを、先に洗い出しておきます。

先回りして手当てしておくこと

想定されるつまずき	起きやすい時期	兆候	あらかじめ決めておく手当て
授業の時間帯が生活に合わない	開始1か月	朝の授業に起きられない、あるいは夜は疲れて集中できない日が出てくる。	朝と夜の両方に枠があるため、合わないほうから合うほうへ移します。海外在住の講師に担当を替えれば夜も組めます。
現地校の長期休暇や行事で空く	10月・12月	ハーフタームやクリスマス休暇で2週間まるごと止まる。	現地校の年間予定を先に伺い、計画から外します。空いた分は前後の週に寄せ、後から取り戻す形にしません。
受験の席が取れない	申込開始直後	希望の回が埋まってしまう。	会場ページで実施日と受付開始を確認し、開始と同時に申し込みます。埋まった場合は翌月の回に切り替えます。
教材が届かず止まる	随時	紙の教材を待っている間に学習が空く。	単語帳はPDF、演習はアプリで完結する組み方にします。紙が必要なものは一時帰国に合わせます。

図6：海外在住の方の学習で実際に起きやすい順に並べています。実際の資料では、お住まいの都市、現地校の年間予定、一時帰国のご予定を伺ったうえで、その方に起きやすいものを選んで書きます。

計画を組み替える条件を、先に決めておきます

現地校の休暇や一時帰国で2週間以上まるごと空いた	1月ではなく3月以降の回に切り替えます。海外会場でも、月に複数回実施される月があります。ただし席は先着なので、変える判断は早めに行います。
11月の模試で大問1が12/18を超えた	語彙の該当が解消に向かったと判断し、平日25分から15分に減らします。空いた10分を英文要約に回し、残り幅230点分のほうを厚くします。
一時帰国が決まった	その期間は日本時間で授業を組み直し、時間帯を選べる利点を活かして集中的に進めます。日本国内のS-CBTや従来型を受験する選択肢も、あわせて検討します。

止まる原因を、実力の問題にしません。海外での学習が続かないとき、本人のやる気や英語力のせいにされがちですが、実際には時差と行事と受験日程のどれかであることがほとんどです。どこで止まりやすいかを先に洗い出しておけば、止まったときに立て直せます。

06 TRACKING 学習を見える化して続ける

離れていても、進み具合が数字で見える状態にします。

お一人ずつ**学習計画表**を作り、毎日やることを明確にします。演習は自社アプリのスタスタAppsで正答率と弱点を数字にし、1日の学習が終わった段階でLINEに画面を送っていただきます。**海外にいるほど、この可視化の価値は上がります**。対面で様子を見られないぶん、数字だけは確実に共有できる状態にしておきます。

学習のサイクル



図：授業で入れた型を宿題で使い、アプリと模試で結果を確認して、また授業に戻す。この循環があるので、やっただけで終わりません。

ご家庭にお願いすること

- 指導と添削は**すべて塾側が担当**します。丸つけや英作文の確認をご家庭でお願いすることはありません。
- お願いするのは**現地校の年間予定と、一時帰国のご予約を早めに共有していただくこと**です。計画から先に外しておけば、崩れません。
- 疑問はLINEでいつでも質問できます。時差があるため即答にならないこともありますが、必ずその日のうちにお返しします。

ご本人と直接やり取りする形にもできます。中学生以上であれば、保護者様を経由するか、ご本人が直接LINEでやり取りするかを選べます。海外の場合は時差の関係で、ご本人が直接のほうがやり取りが速く回ることが多いです。

07 DELIVERY 授業と、担当のこと

時差を前提に、続く形で組みます。

担当は固定です

毎回先生が変わることはありません。学習の進み具合を把握した担当が一人つき、4技能をまとめて見ます。海外の場合は時間帯が限られるため、担当を固定しておくことがそのまま日程の安定につながります。1回の授業は55分です。

現地の時間に合わせて組みます

当塾には海外在住の講師も在籍しています。現地の朝だけでなく、夕方から夜の時間帯も選べます。ご希望の時間帯を伺ったうえで、そこに対応できる講師を担当にします。夏時間と冬時間の切り替わりでは1時間ずれるため、その都度組み直します。現地校の行事や長期休暇も、前もって伺って計画から外します。

授業でやること

授業は**実際の英検の問題を使う時間**です。書いてきた英文要約を添削したうえで、なぜその一文を残しどれを落とすのかまで扱います。英語で話すこと自体には慣れているので、**授業は日本語と英語を歩き来しながら**進めます。設問と選択肢が日本語である以上、日本語で理解を確かめる時間も必要だからです。

コーチング（授業とは別の時間です）

授業の時間を学習内容に使い切るため、**計画表の更新と全体の戦略は別枠**で行います。5章の分岐に書いた条件に当てはまるかどうか、ここで判断します。帰国の時期が見えてきた段階では、それに間に合う受験回から逆算して計画を組み直します。帰国生入試で英検をどう使うかという方針も、志望校が固まってきた段階でご相談いただけます。

オンラインだからこそ、場所を選びません。お住まいが変わっても、担当も計画もそのまま引き継ぎます。帰国された後も、日本時間に組み直すだけで続けられます。万が一、担当講師との相性が気になる場合は、交代もご相談いただけます。

08 PLAN コースの選び方

回数が増えるほど手厚くなります。金額は別紙料金表をご覧ください。

今回の診断で該当と判定した2項目のうち、**英文要約は独学では直りません**。書いて出して直してもらう往復の回数が、そのまま伸びに直結します。ただし海外の場合、平日に取れる枠が限られるため、**週末に厚く置ける月6回から8回**を推奨します。現地校の長期休暇や一時帰国の月は回数を増やし、行事の多い月は控えめにという調整もできます。

コース	回数	対策できる範囲
ライトコース	月4回	一次対策のみ。自習を中心に、要点だけ見てほしい場合。
スタンダードコース 推奨	月6回	一次に加えてスピーキングも並行。
スタンダードコースプラス 推奨	月8回	ライティングや弱点にさらに時間をかけたい場合。
プレミアムコース	月12回	最も手厚く、合格保証の対象となるコースです。

オレンジの行が、このモデルケースでの推奨です。回数は週あたりではなく月あたりで設定します。金額は本書には記載していません。別紙料金表をご確認ください。

合格保証について

合格保証は**プレミアムコース**が対象です。3か月継続し課題に取り組んだうえで不合格だった場合、**12コマを無償**で追加します。適用条件の詳細は別紙料金表をご確認ください。

お手続きの要点

- 入会金は初月のみ。お支払いはクレジットカード決済です。
- コース変更は毎月**25日まで**のご連絡で翌月から反映されます。
- 回数は週あたりではなく**月あたり**で設定します。
- 受験直前の月だけ回数を増やす使い方もできます。
- 受講できなかった分は原則、翌月へ振替対応します。
- 友人紹介制度があります。

海外にお住まいの場合。お支払いはクレジットカード決済のため、海外からでも手続きは変わりません。教材はPDFとアプリで完結する組み方にしているので、郵送を待つ必要もありません。消費税の扱いなど海外在住ならではの点は、別紙料金表とあわせてご案内します。

09 ABOUT この資料について

見本は架空です。実物は、お一人ずつ手作ります。

ここまでお読みいただいた診断も、数値も、日程も、**架空のモデルケース**です。実際にお渡しする資料は、面談で伺った内容だけをもとに**お一人ずつ作り直します**。とくに1章の診断と5章の分岐は、その方の話を聞かなければ書けない部分です。

面談のあと、ここが差し替わります

- **診断（1章）**。つまずきの原因の切り分けは、伺った手ごたえと過去の学習経験から判断します。この資料の中心です。
- **現在地の図**。成績表をお持ちであれば、技能別CSEと大問別の正答数という実数で作り直します。
- **日程**。実際に空いている会場と日程、受験方式、申込の開始日時まで調べたうえで置きます。
- **教材と1日の配分**。お持ちの教材を仕分け、生活リズムに合わせて量を決めます。
- **リスクと分岐（5章）**。その方に起きやすいつまずきと、計画を組み替える条件を書きます。

無料相談の流れ

- 1 お申し込みいただきます。オンラインで、およそ50分です。
- 2 現在地と目標、生活リズムを伺います。分かる範囲で構いません。
- 3 あなたのための計画表をお送りします。料金表とあわせてLINEでお届けします。

最後に

現地校で育った聞く力は、日本にいる受験生が最も時間をかける部分です。それをすでに持っている以上、残りは意図的に入れられる2つだけです。

無料相談のお申し込みは、こちらからどうぞ。

apps.studystudio.jp/live-eiken/consultation

出典

注1 公益財団法人 日本英語検定協会「各級の試験内容」（大問ごとの形式と問題数）

注2 同「英検CSEスコアとは」および同協会FAQ（技能別の満点スコア、一次試験の合格基準スコア）

注3 同「2026年度 試験日程（個人でお申し込みの方）」（従来型の一次試験日・二次試験日）

注4 同「各級の目安」（推奨する学習の目安）

注5 スタスタLIVE英検 調べ（級間の目安学習時間、市販単語帳のカバー率）

注6 公益財団法人 日本英語検定協会「英検S-CBT 海外会場」（実施都市、対象級、実施頻度）

英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。本書の人物・成績・日程はすべて架空のモデルケースであり、実際の受講生とは関係ありません。学習時間の目安と単語帳のカバー率は当塾調べです。料金の詳細は別紙料金表をご確認ください。